



○明十五年度豫算總額概算

大藏省の發表に依れば

事變處理の新段階に對處すべき明年度豫算は過般來同省の第一次査定に引續き文治各省の復活要求並に修正軍備擴充計畫を中心とする國防豫算の折衝が續けられ陸軍豫算について大藏、陸軍兩省間の最後の折衝が徹宵に亘つて行はれた結果漸く遂に兩省の意見一致し明年度豫算の核心をなす軍事費が圓滿解決をみる運びとなつたので同省では直に計數整理にかゝり首相官邸に開催された豫算閣議において一、昭和十五年度一般會計豫算概算 一、臨時軍事費追加豫算の概數を附議し異議なく決定午後零時十五分開議を終

了した。それによれば、

- 一、明十五年度一般會計豫算概算五十九億餘萬圓
 - 一、臨時軍事費追加豫算概算四十四億六千餘萬圓
 - 一、右合計明年度豫算總額概算百三億六千餘萬圓
- これを本年度に比較すれば一般會計は十億九千六百萬圓の増、臨時軍事費においては一億四千五百萬圓の減となり一般會計概算と臨時軍事費追加豫算の差において九億五千百萬圓の増を示した。

一般會計の歳出が、斯の如く増大したのは節減繰延べによつて約四億圓丈け減じた反面において標準豫算額が約三十七億圓に膨脹すると共に各省新規要求を約廿七億圓認めた結果によるものである。明年度豫算編成に當つては飽くまで重點主義に則り事變處理の遂行上眞に止むを得ない經費を第一として不急不要事業に關する經費を斷乎抑制すると共に我國現下の經濟力特に物資供給狀況との調和を圖るところに主眼を置いたことがこの戰時豫算の特色とみられるところであり、殊に本年の豫算閣議において一般會計に

おける陸海軍豫算と並んで臨時軍事費特別會計の追加豫算概數が同時に附議されたことは注目すべきことである。かくて事變第四年目の明年度豫算の全貌は實に百億圓を突破すること三億六千萬圓の巨額となり戦時豫算の色彩はますます鮮明の度を加へるに至つたのである。一般會計豫算概算並に臨時軍事費追加概算は左の如くである。(單位千圓)

昭和十五年度歳入出概算

歳入	
經常部	三、四一八、〇〇〇
臨時部	二、四八二、〇〇〇
普通歳入	七三一、〇〇〇
公債金	一、六七五、〇〇〇
◇前年度剩餘金繰入	七五、〇〇〇
計	五、九〇〇、〇〇〇
歳出	
經常部	二、七四五、〇〇〇
臨時部	三、一五五、〇〇〇
計	五、九〇〇、〇〇〇

(歳入歳出差引過不足なし)

歳出概算各省別内譯

	經常部	臨時部	計
皇室	四、五〇〇 <small>千圓</small>		四、五〇〇 <small>千圓</small>
外務	二四、〇〇〇	四〇、〇〇〇	六四、〇〇〇
内務	四一四、〇〇〇	一七三、〇〇〇	五八八、〇〇〇
大藏	一、〇九七、〇〇〇	七一九、〇〇〇	一、八一七、〇〇〇
陸軍	一八七、〇〇〇	一、〇九二、〇〇〇	一、二七九、〇〇〇
海軍	三五一、〇〇〇	六七七、〇〇〇	一、〇二八、〇〇〇
司法	五一、〇〇〇	五、〇〇〇	五七、〇〇〇
文部	一五九、〇〇〇	二七、〇〇〇	一八六、〇〇〇
農林	六二、〇〇〇	一四八、〇〇〇	二一〇、〇〇〇
商工	九、〇〇〇	八〇、〇〇〇	八九、〇〇〇
逓信	二九七、〇〇〇	七〇、〇〇〇	三六七、〇〇〇
拓務	二、〇〇〇	五二、〇〇〇	五五、〇〇〇
厚生	八四、〇〇〇	六六、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
計	二、七四五、〇〇〇	三、一五五、〇〇〇	五、九〇〇、〇〇〇
臨時軍事費追加額			
計數整理の結果異動を生ずることあるべし			
陸軍臨時軍事費			二、九七三、〇〇〇 <small>千圓</small>

海軍臨時軍事費
 豫備費

七三七、〇〇〇
 七五〇、〇〇〇

計

四、四六〇、〇〇〇

【備考】右歳出は公債金及其他の収入を以て支辨する計畫なり

◎三大會社の創立

株式會社日立製作所と東京瓦斯電氣工業株式會社とは共に産業界に於ける有力會社で東京瓦斯電氣の如きは創立以來三十年を経たる會社であるが今回一層事業の擴充強化を計る爲めに兩會社を合併し新に航空機に關する事業を日立航空株式會社に兵器部事業は日立兵器株式會社に造機部事業は日立工作機株式會社に繼承することとなつた。

◎我國民の壽命表 國民保健問題の基本資料である我國民の壽命の統計は生命表が内閣統計局から發表された。其の時期は昭和十年十月現在である。前同即ち昭和五年の第五回の調査に比較すると死亡率が著しく低くなつて來たが唯二十歳から三十三歳の死亡率は前回よりも高くなつた。之は結核死亡者の増加に原因することが判明して居る。而

して此現象は女子よりも男子に著しい傾向を示して居る。左に死亡率の結果を表示す（人口千人について）

年 齡	年 齡	
	男 子	女 子
〇 歲	一一三、〇	九九、二
一 〇	三七、〇	三五、三
一 〇	二、四	二、五
一 五	四、八	七、〇
二 〇	一〇、〇	九、六
二 五	九、二	九、一
三 〇	七、七	八、一
三 五	七、六	八、二
四 〇	八、九	九、〇
四 五	一一、九	九、五
五 〇	一七、三	一二、一
七 〇	七六、七	五三、三

尙平均壽命は前回調査より二、三年延長された。

◎近刊圖書雜誌

○警察協會雜誌（第四七五號）

○企畫（第二卷一一號）（獨逸の戰時總動員體制（一））

○都市問題(第二九卷六號)

(帝都の交通統制問題に就て大槻信治、植木壽雄、石山賢吉、近藤操四氏)

○北海道帝國大學工學部記要(第五册四號)

○石油時報(十一月、十二月號)

○自警(十二月號) 皇軍慰問特輯

○內務資料(第三卷十號) 滿洲總務廳地方處

○技術評論(第一六卷一二號)

○港灣(第一七卷一一號)

○道路(第一卷八號)

○三田學會雜誌(第三三卷一一、一二號)

○水利と土木(第一二卷一二號)

○法律時報(第一一卷一二號)

○土木建築工事畫報(第一五卷一二號)

○建設(第四卷一〇號)

(大島秀行氏「吟大道路に就て」)

○東大陸(一二月號)(特輯「あがる革新團體」)

○セメントコンクリート道路(第五八號)

(第八回萬國道路會議報告「ミューンヘン會議以後セメント系道路舗裝の進歩」)

○電氣通信學會雜誌(第二〇〇號)

○清和(第六卷一一號)(東横目蒲兩會社合併記念號)

○鐵道軌道經營資料(第三二卷一一號)

○土木工業(第一卷一一號)

○土木(第五四號)

(廣田久重氏「合同問題と協會の進路」)

○紀元二千六百年(十二月號)

○乗合自動車(第一三卷一一號)

○國立公園(十一、十二月號)

○セメント界彙報(第三八一號)

○日本ポルトランドセメント業技術會報告

(第一三卷二五號)

(セメント風篩器共同試驗報告)

○觀光聯盟情報(第三卷一一號)